

令和7年度徳島県立徳島中央高等学校及びしらさぎ中学校 第2回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和7年11月26日（水）午後2時から午後4時まで

2 場所 徳島県立徳島中央高等学校 1階 大会議室

3 会議

（1）開会

（2）会長あいさつ

（3）学校長あいさつ

（4）防災に関する本校の取組みについて

◆各課程から活動紹介

（質疑応答・感想など）

- ・素晴らしい発表だ。手旗やモールス信号について指導していたが、あれは災害現場でも使えるのか。
→ 知っていることが大事で、もしもの時はSOSを出せる。
- ・先日、能登の地震の研修に行ってきた。外出先での被災に備え（防災グッズがあれば）安心できる準備が大切だ。医薬品も含め1～2週間分は必要か。学校では生徒の薬を預かるのは難しいが、生徒にはその必要性を呼びかけてほしい。
- ・防災士の資格を取得した生徒がいることを知った。これは素晴らしいことだ。
- ・10月に石巻市に行った。（災害時は）「逃げろ」ということが、一番大事だと思った。「高いところに逃げろ」と、言って生徒が全員助かった。先生がルールではなく、一番に命を大切にした。とにかく逃げるのが大事。ルールも大事だが逃げるのが大事。
- ・避難訓練は生徒が興味をもつことが大事だ。まずは、命を守るために逃げる。
- ・学校には水や食料、テントはいくつあるか。
→ 徳島市と学校の備蓄がある。テントの数は十分ではない。
- ・停電に備えた準備はしているか。ソーラーパネル、ガソリン式発電機もあるが、カセットボンベの発電機が便利なので買いたいと思っている。
→ 本校は昨年度、カセットボンベを2台購入した。
- ・カセット式が一番良い。ソーラーは天候に左右される。スライドを見てレンガ（釜を作るとき）が便利と思った。
- ・様々な防災用品があると思った。加茂地区には8カ所の避難所がある。避難所に行く道中での何が障害になるかということを検証しなければいけない。避難所

への行き方が大事。10月24日の防災避難訓練（学校と地域との合同）でも感じたが、夜は暗いので災害時にどのように帰るのか、さまざまな想定が大事だ。

- ・東日本大震災では単独の防災訓練だったが、それ以後は、今のような地域と連携した訓練になってきている。支援を必要としている人もいるので、地域での助け合いが大切だ。
- ・去年から引き続いて、防災活動を改善していることが良かった。現状を評価していくことが大事。現在の素晴らしい取組みを次年度につなげてほしい。防災は目的が「すること」ではなく、職員が、いかに真剣に取り組むかが重要だ。

（５）その他

今後の日程について事務局から連絡

（６）閉会